

公益社団法人 日本表面真空学会  
2025年 関西支部総会

日時： 令和7年(2025年) 4月2日 (水) 14:30-15:30

場所： 株式会社島津製作所 関西支社

(Zoom meetingとのハイブリッド開催)

## 議事

1. 開会の辞 (2024 年度支部長 本多 信一)
2. 総会定足確認
3. 議長選出
4. 議題
  - 第一号議案 2024 年度 事業報告承認 に関する件 (資料 1)
  - 第二号議案 2024 年度 決算承認 に関する件 (資料 2)
  - 第三号議案 2025 年度 支部役員選任 に関する件 (資料 3)
5. 報告事項
  - 1) 2025 年度 事業計画 に関する件 (資料 4)
  - 2) 2025 年度 予算 に関する件 (資料 5)
  - 3) 関西支部 周年記念事業 に関する件 (資料 6)
6. 閉会の辞 (2025 年度支部長)

資料 1： 2024 年度事業報告書 (案)

資料 2： 2024 年度収支決算 (案)

資料 3： 2025 年度支部役員 (案)

資料 4： 2025 年度事業計画書

資料 5： 2025 年度予算書

資料 6： 関西支部周年記念事業に関する件

## 関西支部会員数

正会員 (令和 7 年 4 月 1 日時点) 322 名 定足数 17 名

(参考：公益社団法人日本表面真空学会関西支部規程より抜粋)

第 18 条 支部総会の議決は議決権を有する支部正会員の 20 分の 1 以上が出席し、出席した支部正会員の過半数をもって行う。ただし、委任状を認め、委任状提出者は出席正会員と認める。賛否同数のときは、議長の議決するところとする。

## 日本表面真空学会関西支部 2024 年度事業報告書（案）

### 1 役員会

#### 第 1 回役員会（新旧合同）

開催日： 2024 年 4 月 5 日（金）

場 所： BIZ SPACE HIMEJI 404 会議室（+Zoom meeting によるハイブリッド開催）

議 題： 本部理事会報告，本部教育・育成委員会報告，支部主催行事開催報告，支部協賛行事報告，  
支部主催行事企画案審議，2024 年度役員に関する審議，総会議案審議

出席者： 39 名（内，委任 9 名）

#### 第 2 回役員会

開催日： 2024 年 7 月 24 日（水）

場 所： Zoom meeting によるオンライン会議

議 題： 本部理事会報告，本部教育・育成委員会報告，支部総会開催報告，支部協賛行事報告，  
支部主催行事企画案審議

出席者： 34 名（内，委任 11 名）

#### 第 3 回役員会

開催日： 2024 年 12 月 26 日（木）

場 所： Zoom meeting によるオンライン会議

議 題： 本部理事会報告，本部教育・育成委員会報告，支部主催行事開催報告，支部協賛行事報告，  
支部主催行事企画案審議，次年度支部役員体制についてのアナウンス

出席者： 31 名（内，委任 3 名）

### 2 関西支部総会

開催日： 2024 年 4 月 5 日（金）

場 所： BIZ SPACE HIMEJI 404 会議室（+Zoom meeting によるハイブリッド開催）

議 題： 2023 年度事業報告の承認，2023 年度決算の承認，2024 年度支部役員の選任，  
関西支部規定改訂の承認，2024 年度事業計画書の報告，2024 年度予算書の報告，  
関西支部周年記念事業の計画報告

会員数： 341 名（2024 年 4 月 1 日現在）

定足数： 18 名

参加者： 66 名（内，委任状による議決権行使 25 名）

### 3 研究会，セミナー等

#### 2024年度支部特別講演会

開催日： 2024年4月5日（金）  
場 所： BIZ SPACE HIMEJI + オンライン  
参加者： 73名  
講演題目： 物質・材料のナノ構造を生かした神経型インマテリアル演算の可能性  
（大阪大学 松本 卓也 先生）

#### 2024年度（第25回） 関西支部市民講座

主 題： XRがもたらす新たな社会 — 仮想世界と現実の融合 —  
開催日： 2024年9月8日（日）  
場 所： 京都大学100周年時計台記念館 国際交流ホールⅡ（オンライン併催）  
参加者： 52名  
講演題目： 1. 身体と世界が拡張し融合する複合現実XR（大阪大学 佐藤 宏介 先生）  
2. xRの映像生成テクノロジーの進化とメディア・アート  
（久留米工業大学 工藤 達郎 先生）

#### 2024年秋季合同講演会 （日本真空工業会関西支部との合同開催）

開催日： 2024年9月11日（水）  
場 所： アートホテル大阪ベイタワー22階 スカイバンケットイースト  
参加者： 43名  
講演題目： 1. プラズマを利用した金属材料の表面改質  
（関西大学化学生命工学部 教授 西本 明生 先生）  
2. 高速原子間力顕微鏡技術で可視化するナノスケールでの分子ダイナミクス  
（名古屋大学大学院理学研究科 教授 内橋 貴之 先生）

#### 第16回 役に立つ真空技術入門講座

開催日： 2024年9月26日（木），9月27日（金）  
場 所： 大阪公立大学文化交流センター ホール（オンライン併催）  
参加者： 47名  
講義題目：  
<1日目> 9月26日（木）  
真空の概念Ⅰ、真空の概念Ⅱ（京都大学 鈴木 基史 先生）  
真空系の構成（神港精機株式会社 加々見 丈二 先生）  
真空ポンプ（株式会社大阪真空機器製作所 空尾 互一 先生）

真空の取り扱い、真空部品の保守（京都大学 中嶋 薫 先生）

<2日目> 9月27日（金）

真空計測（大阪電気通信大学 安江 常夫 先生）

真空装置のトラブル事例と対策（近畿大学 西川 博昭 先生）

低・中真空の産業応用（大阪産業技術研究所 笥 芳治 先生）

中・高真空：超音速分子線による表面解析（大阪大学 岡田 美智雄 先生）

超高真空：分子線エピタキシー技術の基礎（大阪大学 長谷川 繁彦 先生）

## 実用表面分析セミナー2024

開催日： 2024年11月13日（水）

場 所： 神戸大学 百年記念館 六甲ホール

参加者： 150名

一般講演：

1. 最先端レーザーラマン顕微鏡を用いた多彩なラマンイメージング技術  
（ナノフォトン株式会社 足立 真理子 様）
2. ソリッドネブライザーICP-MSを用いた各種材料への適用事例  
（株式会社日東分析センター 内海 優也 様）
3. 時間分解走査プローブ顕微鏡の紹介 （株式会社ユニソク 岩谷 克也 様）
4. 新製品 超高分解能走査型電子顕微鏡の特徴と分析事例の紹介 （株式会社島津製作所 坂前 浩 様）
5. UPS/LEIPSによる半導体材料のエネルギバンド評価技術 （株式会社日産アーク 佐藤 誓 様）
6. -Phenom 卓上 SEM のご紹介- 主成分分析法による SEM-EDS 相分析  
（ジャスコインタナショナル株式会社 江口 錦之介 様）
7. 研究開発を促進する起爆剤 ～オックスフォードの複合解析技術～  
（オックスフォードインストゥルメンツ株式会社 村田 泰斗 様）
8. クライオ SEM によるエマルジョンの観察 （株式会社カネカテクノリサーチ 山本 啓太 様）
9. CAMECA の第三世代高分解能 SIMS "NanoSIMS-HR"が拓く微小領域分析  
（アメテック株式会社 石川 真起志 様）
10. 表面性状の数値化及び多角的視点から分かる材料特性評価 （株式会社日立ハイテク 栃本 貴志 様）
11. TOF-SIMS と XPS による燃料電池の劣化した膜電極接合体の状態分析  
（株式会社コベルコ科研 松尾 修司 様）
12. ハイエンド顕微ラマン分光装置の最新分析技術 （株式会社堀場テクノサービス 溝道 桂介 様）
13. フルオート多機能 XPS 装置 PHI GENESIS を用いた最新の応用事例  
（アルバック・ファイ株式会社 井上 りさよ 様）
14. ニュースバル放射光施設の分光分析装置の紹介 （兵庫県立大学 大河内 拓雄 様）

ポスターセッション・展示： 上記企業および サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社、  
株式会社 住化分析センター

特別講演： 光誘起結合変換による擬2次元物質系における構造変化  
～光励起によるグラフェン薄膜化技術の基盤形成に向けて～  
（大阪公立大学大学院工学研究科 金崎 順一 先生）

表面科学技術研究会 2025 （表面技術協会関西支部との合同開催）

主 題： 半導体産業の現状と課題 - これからの日本を支える半導体技術 -

開催日： 2025年1月31日（金）

場 所： 大阪産業技術研究所 森之宮センター（オンライン併催）

参加者： 134名

講演題目：

1. [依頼講演 1] 産業の川上「結晶」が拓くグリーン・デジタル社会 （大阪大学 森 勇介 先生）
2. [依頼講演 2] 先端半導体デバイス技術の現状と展望 （東京大学 小林 正治 先生）
3. [依頼講演 3] チップレット集積技術の開発動向 （東京科学大学 栗田 洋一郎 先生）
4. [基調講演] 本格的実用化を迎えた SiC パワーデバイスの現状と課題  
（京都大学 木本 恒暢 先生）

第二号議案 2024年度決算の承認に関する件（資料2）

令和6年度日本表面真空学会関西支部収支決算案					
<b>1. 通常会計の部</b>					
<b>収入</b>					
1) 前年度繰越金	4,714,828	円		4,714,828	円
2) 本部交付金	-	円		-	円
3) 本部補助金	-	円		-	円
4) 参加費等(事業収益)	1,586,452	円	内訳		
			特別講演会懇親会参加費	-	円
			真空技術入門講座参加費等	586,000	円
			実用表面分析セミナーテキスト販売	144,000	円
			実用表面分析セミナー企業協賛金	790,000	円
			表面科学技術研究会収益等	66,452	円
5) 雑収入	16,134	円	内訳		
			預金利息	2,644	円
			その他	13,490	円
合計	6,317,414	円		6,317,414	円
<b>支出</b>					
1) 特別講演会(総会后)	113,254	円		113,254	円
2) セミナー・研究会費	1,598,452	円	内訳		
			真空技術入門講座	384,247	円
			実用表面分析セミナー	759,514	円
			表面科学技術研究会	154,664	円
			秋季合同講演会	56,390	円
			市民講座	243,637	円
3) 雇用賃金	-	円		-	円
4) 旅費交通費	-	円		-	円
5) 通信費	1,320	円		1,320	円
6) 会務運営費	-	円		-	円
7) その他	13,733	円		13,733	円
8) 特定費用準備資金	3,000,000	円	周年記念事業費	3,000,000	円
9) 予備費	1,590,655	円		1,590,655	円
合計	6,317,414	円		6,317,414	円

第二号議案 2024年度決算の承認に関する件（資料2）

2024年4月1日～2025年3月31日							
	合 計	法人会計		公益目的事業会計			
		支部委員 会・総会等	第24回市 民講座	第15回役 人立つ真 空技術入 門講座	秋季合同 講演会	実用表面 分析セミ ナー	表面科学 技術研究 会
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
事業収益	1,586,452	0	0	586,000	0	934,000	66,452
受取参加費	652,452	0	0	586,000	0	0	66,452
受取広告料	0	0	0	0	0	0	0
受取ブース出展料	790,000	0	0	0	0	790,000	0
受取出版物頒布	144,000	0	0	0	0	144,000	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	16,134	16,134	0	0	0	0	0
受取利息	2,644	2,644	0	0	0	0	0
その他収益	13,490	13,490	0	0	0	0	0
経常収益計	1,602,586	16,134	0	586,000	0	934,000	66,452
(2) 経常費用							
事業費	1,726,759	128,307	243,637	384,247	56,390	759,514	154,664
臨時雇賃金	48,040	24,000	9,600	14,440	0	0	0
会議費	74,340	0	0	0	0	74,340	0
旅費交通費	307,176	36,200	120,950	31,220	26,420	13,660	78,726
通信運搬費	5,609	1,320	2,639	0	0	1,650	0
消耗品費	41,259	35,002	0	0	0	6,257	0
印刷製本費	409,035	0	0	165,605	0	243,430	0
諸謝金	200,442	11,137	44,548	89,072	0	11,137	44,548
委託費	0	0	0	0	0	0	0
会場費	168,675	5,775	34,400	51,500	0	77,000	0
支払手数料	9,950	1,140	1,800	2,710	270	2,340	1,690
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0
雑費	462,233	13,733	29,700	29,700	29,700	329,700	29,700
経常費用計	1,726,759	128,307	243,637	384,247	56,390	759,514	154,664
当期増減額	-124,173	-112,173	-243,637	201,753	-56,390	174,486	-88,212
期首残高	4,714,828						
期末残高	4,590,655						

第二号議案 2024 年度決算の承認に関する件 (資料 2)

日本表面真空学会関西支部令和6年度会計 事業別収支		会計幹事 長塚 直樹	
	収入	支出	収支
前年度繰越金	4,714,828		4,714,828
特別講演会 参加費	-	113,254	-113,254
役に立つ真空技術入門講座 参加費等	586,000	384,247	201,753
実用表面分析セミナー テキスト販売 企業協賛金	144,000 790,000	759,514	174,486
表面科学技術研究会 収益等	66,452	154,664	-88,212
秋季合同講演会 参加費	-	56,390	-56,390
市民講座 本部補助金	-	243,637	-243,637
雇用賃金 旅費交通費 通信費 会務運営費 本部交付金 その他 預金利息	- - - - - 13,490 2,644	- - 1,320 - - 13,733	1,081
予備費		4,590,655	-4,590,655
合計	6,317,414	6,317,414	0

## 令和6年度日本表面真空学会関西支部決算報告書

### 1. 通常会計の部

収入	
前年度繰越金	4,714,828 円
本部交付金	0 円
講演会等参加料(テキスト販売等を含む)	809,942 円
本部補助金(市民講座)	0 円
企業協賛金	790,000 円
預金利息	2,644 円
合 計	6,317,414 円
支出	
セミナー・研究会費等	267,558 円
雇用賃金	48,040 円
旅費交通費	240,060 円
通信費	2,970 円
消耗品費	41,259 円
印刷製本費	409,035 円
会場費	171,314 円
支払手数料	9,950 円
雑費	536,573 円
合 計	1,726,759 円

4,590,655 円は予備費として次年度へ繰り越すものとする。

2025年 3月 28日

以上の通り、令和6年度関西支部決算報告をいたします。

関西支部会計幹事 長塚 直樹 (京都大学)



関西支部支部長 本多 信一 (兵庫県立大学)



以上の収支について監査を行い、適正であることを認めます。

関西支部監査役 白藤 立 (大阪公立大学)



公益社団法人 日本表面真空学会 関西支部 令和 7 年度役員（案）

支部長 中村 芳明（大阪大学）

副支部長 坂本 一之（大阪大学），横溝 臣智（コベルコ科研）

幹事

伊賀 敏治（大阪真空機器製作所）

伊巻 亮太（日鉄テクノロジー）

大河内 拓雄（兵庫県立大学）

奥田 太一（広島大学）

小野 倫也（神戸大学）

加藤 遼（大阪大学）

川畑 直之（三菱電機）

川山 巖（京都大学）

久保田 直義（日鉄テクノロジー）

斎藤 彰（大阪大学）

坂口 浩一郎（岡山県立大学）

澤田 大輔（カネカテクノリサーチ）

渋谷 昌弘（大阪公立大学）

末広 省吾（住化分析センター）

須田 泰市（東レリサーチセンター）

竹内 雅人（大阪公立大学）

堂井 真（リガク）

富山 泰輔（神港精機）

中嶋 薫（京都大学）

中嶋 誠二（兵庫県立大学）

長塚 直樹（京都大学）

成瀬 延康（滋賀医科大学）

西川 博昭（近畿大学）

服部 賢（奈良先端科学技術大学院大学）

平出 雅人（島津製作所）

廣瀬 潤（堀場製作所）

福井 賢一（大阪大学）

福田 常男（大阪公立大学）

藤井 俊治郎（兵庫県立大学）

藤居 義和（神戸大学）

藤谷 海斗（兵庫県立大学）

前島 尚行（立命館大学）

湊 淳一（日本板硝子）

山田 剛司（パナソニック）

山田 亮（大阪大学）

監査 本多 信一（兵庫県立大学）

以上 39 名

令和 7 年度 日本表面真空学会 関西支部 事業計画書

- ・役員会 年間 3～4 回の対面およびオンライン開催を予定
- ・事業 支部総会, 講演会, 研究会等の計画と開催

(1) 支部総会

開催日: 2025 年 4 月 2 日 (水)  
開催場所: 株式会社島津製作所 関西支社 + オンライン

(2) 2025 年度支部特別講演会

開催日: 2025 年 4 月 2 日 (水)  
開催場所: 株式会社島津製作所 関西支社 + オンライン  
講演テーマ: 研究不正の現状と課題について  
講演者: 文部科学省 科学技術・学術政策局 参事官付 高橋 耕輔 室長補佐  
大阪大学 中野 貴志 先生

(3) 第 26 回 市民講座

開催予定日: 2025 年 8～9 月の開催を計画中  
開催場所: 対面とオンラインのハイブリッド形式での開催を予定

(4) 第 17 回 役に立つ真空技術入門講座

開催予定日: 2025 年 9 月 25, 26 日で計画中  
開催場所: 大阪公立大学文化交流センターホール (+ オンライン) の予定

(5) 2025 年秋季合同講演会 (日本真空工業会 関西支部との合同開催)

開催予定日: 2025 年 9 月 11 日で計画中  
開催場所: アートホテル大阪ベイタワー (予定)

(6) 実用表面分析セミナー2025

開催予定日: 2025 年 11 月中旬～12 月初旬の開催を計画中  
開催場所: 神戸大学 百年記念館六甲ホール (予定)

(7) 表面科学技術研究会 2026 (表面技術協会 関西支部との合同開催)

開催予定日: 2026 年 1 月中旬～下旬の開催を計画中  
開催場所: 大阪産業技術研究所 森之宮センター (+ オンライン) の予定

報告事項 2) 2025 年度予算に関する件 (資料 5)

令和7年度日本表面真空学会関西支部予算(案)				
1. 通常会計の部				
収入				
1)	前年度繰越金	4,600,000 円		4,600,000 円
2)	参加費等	1,635,000 円	内訳	
			役に立つ真空技術入門講座	650,000 円
			秋季合同講演会	- 円
			実用表面分析セミナー企業協賛金	800,000 円
			実用表面分析セミナーテキスト販売	150,000 円
			表面科学技術研究会テキスト販売	35,000 円
	合計	6,235,000 円		6,235,000 円
支出				
1)	セミナー・研究会費	1,479,100 円	内訳	
			役に立つ真空技術入門講座	384,200 円
			秋季合同講演会	25,000 円
			市民講座(第25回)	218,900 円
			実用表面分析セミナー2024	751,000 円
			表面科学技術研究会2025	100,000 円
2)	雇用賃金	24,000 円		24,000 円
3)	旅費交通費	30,000 円		30,000 円
4)	通信費	5,000 円		5,000 円
5)	会議・会務運営費	111,000 円		111,000 円
6)	特定費用準備資金	3,000,000 円	周年記念事業費	3,000,000 円
7)	予備費	1,585,900 円		1,585,900 円
	合計	6,235,000 円		6,235,000 円

## 関西支部周年記念事業計画

- 背景： 2018年4月1日  
旧日本表面科学会と旧日本真空学会の合併。  
日本表面真空学会と関西支部の誕生。
- 周年事業目的： 関西支部会員に対する年度行事では行えないサービスの提供。  
(著名な研究者の招待講演など) 関西支部の活動の対外的なアピール。
- 予定年度： 10周年記念事業 (2028年度実施) から開始。それ以降の会期等については、関西支部役員会と実行委員会にて随時検討する。

## 10周年記念事業計画

- タイトル： 日本表面真空学会関西支部10周年記念シンポジウム
- 会期： 2028年度内。期間は決定時の支部長と実行委員会に一任。
- 実行委員会： 組織化2026年度の新役員選出時に別途実行委員会を組織化。  
周年記念事業による支部役員への負荷集中を避けるため、実行委員は、原則として、支部役員以外から選任する。  
2026年度 予備検討  
2027年度 2028年度内開催に向けた具体的準備
- 財源： 関西支部の特定資産 (必要なら参加費や広告収入も)  
当該周年記念事業費のための特定資産として2025年度関西支部予算案に300万円を計上する。必要に応じて関西支部年度予算にて積立て。
- 事業規模： 200～300万円。
- 概算： 例：京都テルサ2日間 (オーラルシングル+ポスター80枚) 170万円  
その他：招待講演者旅費、印刷費、(必要ならハイブリッド費)が必要  
総額200万円～300万円を想定。